

## 教育方針

### (1) 教育目標

保護者・地域社会の人々と共に、可能性の芽を伸ばし、自分らしく社会で生活していく「生きる力」をもった児童生徒の育成をめざす。

#### めざす子ども像

- ◎自分らしさを出せる子
- ◎自分から精一杯取り組める子
- ◎生活を楽しめる子

#### 校長の願い

- ◎地域社会に開かれた学校
- ◎自己肯定感のある子ども「あなたはあなたのままでいいんだよ」
- ◎専門性を発揮し、子どもたちの全てを受容し、一人一人に寄り添った支援ができる職員

#### 目標の合言葉

さあ はじめよう

- ◎瞳輝くわたらしさ (子ども)
- ◎共に磨き合う探究心 (教師)
- ◎共に育つ交流 (地域)

#### ひとりだちの像

高く掲げた指は希望を、体を支える杖は教育と福祉を、強いまなざしは自立への強い意志を表現しています。

製作 滝沢 石 先生

### (3) 本校の特性

#### ①小・中・高・訪問・寄宿舎と一貫性のある教育を行う学校

- ア 「個別の指導計画」を中心にして、各部・寄宿舎が連携をとりながら、子どもたちの長期的展望に立った指導を行い、着実なキャリア教育を目指します。
- イ 小学部からの成長や行動の記録を累積し、指導に役立てています。
- ウ 高等部卒業時の自立の姿を想定し、小・中・高等部へと段階的に目標を定め子どもたち一人一人に応じた「生きる力」を伸ばします。

#### ②保護者と子どもの教育を共に計画し実施する学校

- ア 「個別の指導計画」を作成するにあたって、保護者も参加し協働しています。また、子どもの育ちの様子から、共に計画を修正しています。
- イ 家庭と学校と連携し、子どもの実態について共通理解のもと、同一の方向性で子どもの支援をしています。
- ウ 授業参観や行事において多くの保護者が積極的に参加し、子どもたちの活動を盛り上げています。

### ③ 地域に開かれ、地域との交流を大事にする学校

- ア 地域の学校や地域の人々との交流を大切にし、地域の人達に先生となっただけ教えて頂くこともあります。
- イ 地域の特別支援教育におけるセンターとして、小中学校の教師をはじめ、障がいのある子どもたちの支援に関わる様々な方々にむけて研修会の情報を提供し共に学ぶ機会を設けたり、相談支援を行ったりしています。
- ウ 「学校公開」を行い、様々な立場の人からご意見を頂き、子どもたちのよりよい成長や特別支援学校としての在り方について、考え合う機会としています。
- エ 就学や家庭教育についての相談等、気軽に来校して頂き、教育相談・体験入学の機会をとっています。

## (4) 本年度取り組みの重点

### ① 過大化・過密化への対応

- ・ 高等部分教室開室準備

### ② 教育的ニーズに応える実践

- ・ 授業力の向上 ・ 公開授業、公開授業研究会の開催
- ・ 個別の指導計画の質を高める ・ 専門性の向上
- ・ 自立活動の充実 ・ わかりやすいキャリア教育

### ③ 特色と魅力ある学校づくりの推進

- ・ 社会との連携 ・ デュアルシステムの導入
- ・ ほかほかグループあおぞら組開設準備
- ・ 寄宿舎教育の推進 ・ 交流及び共同学習の充実

### ④ センターの役割の推進

- ・ 高等学校への巡回相談 ・ 小中学校への巡回相談
- ・ 公開研修会の実施 ・ 学校公開
- ・ 「学校だより」「ホームページ」による情報発信

### ⑤ 安心安全のための環境づくり

- ・ 非違行為根絶のための研修会 ・ 危機管理マニュアルの整備と訓練の実施
- ・ 防災備蓄品の準備進行、市町村との福祉避難所協定締結